

■山脇敏子 服飾研究家。洋裁学校と洋裁店を開設し、長期にわたって、服飾デザイン界を主導した。

やまわきとしこ

国民之友始・1887＝ 広島県呉市で、医師山脇敏夫の子に生まれる。母はえい。本名トシコ。

帝国憲法発布1889＝ 2歳：  
竹原市で育ち、

日清戦争始・1894＝ 7歳：

白馬会・・・1896＝ 9歳：

Bushidou・・・1899＝12歳：小学校を卒業すると、上京し、

日露戦争終・1905＝18歳：女子美術学校日本画科卒業。同校初の文部省留学生として渡欧し、洋画も学ぶ。

韓国反日暴動1907＝20歳：夏目漱石と親交あった洋画家津田青楓と結婚し、  
2男3女を生む間、漱石周辺の人材と交流。

明治天皇没・1912＝25歳：

第一次大戦始1914＝27歳：

本格政党内閣1918＝31歳：二科展に洋画が入選、

ベルサイユ条約・1919＝32歳：与謝野晶子と日本初の女子洋画団体(朱葉会)を創設。

原敬首相暗殺1921＝34歳：

関東大震災・1923＝36歳：自由学園講師となってももなく、農商務省の委嘱で、婦人副業視察のため、フランスに1年滞在。この間、夫に愛人ができたため、

円本時代始・1926＝39歳：離婚。自立の道を服飾にかけ、技術習得のため同年パリに赴き、困窮のなか、手芸・裁断を学び、  
パリを訪れていた細川公爵夫人に助けられて、

共産党事件・1928＝41歳：帰国。雑誌{婦女界}に「かくれて愛児に逢うの記」を書く。「現代婦人手芸全集」。

世界恐慌・・・1929＝42歳：\*山脇洋裁学校を開校、日本のオートクチュールの草分けとなる婦人洋裁店{アザレ}を銀座に開店。

満州事変・・・1931＝44歳：

五一五事件・1932＝45歳：

芥川直木賞始1935＝48歳：陸軍被服廠嘱託。文化服装学院講師。

日中戦争始・1937＝50歳：

日米開戦・・・1941＝54歳：

敗戦・・・1945＝58歳：

新憲法施行・1947＝60歳：戦後の洋裁ブームの中、  
\*山脇服装学院を設立し、院長・理事長に就任。

極東裁判判決・1948＝61歳：「手芸と服飾の図案集」、

三大事件・1949＝62歳：「服飾手芸」、

朝鮮戦争始・1950＝63歳：

独立回復・・・1951＝64歳：

メデラ事件・1952＝65歳：文部省の教材等調査研究会委員となった。

日本デザイナークラブ顧問、日本デザイン文化協会名誉会員。

国連加盟・・・1956＝69歳：パリで開いた服飾個展は好評を博し、また人形20体をチェルヌスキー博物館に寄贈したことなどで、

インスタントマン・1958＝71歳：「文化服装講座・手芸編」。パリ市長から金メダルを贈られた。わが国でも45年に及ぶ貢献に、ファッション=エディターズ=クラブから表彰をうけた。

美智子妃・・・1959＝72歳：

安保闘争・・・1960＝73歳：脳溢血で、没した。

インターネット、